

場面：浴衣にお着替え

番号	画面	内容・台詞	時間
1		入間屋一家。二階廊下。 大浴場から、やすお達と子供達が出てくる。 続いて、たけるときりおが出てくる。 それぞれの子が部屋に戻っていく。 最後に牙吉と飛丸、達次郎が出てくる。	
2		牙吉「いい湯だったぜ」 飛丸「長湯したでやんすね」 達次郎「外湯に浸かってりゃ、見張りしてん のと同じですな」	
3		達次郎「飯まではまだかかりそうだ、ちよっ と庭で涼んできます」	
4		牙吉「じゃ、おいらも」 飛丸「あっしも」 牙吉と飛丸が一階に向かう。	
5		客間。 たけるときりおが入ってくる。 たける「あ……」 きりお「あ……」 たけるときりおは、浴衣に着替えたかんなの 寝ている姿に釘付けになる。	

場面：浴衣にお着替え

番号	画面	内容・台詞	時間
6		かんなの浴衣の裾が少し乱れ、肩や太腿がのぞく。妙に色っぽい。	
7		かんなが起きる。 かんな「お風呂出たんだ。寝ちゃったよ」	
8		たけるときりおは、かんなに見惚れて棒立ち。 たける「可愛い……」 きりお「可愛い……」	
9		かんなは恥じらう。 かんな「え、あ……ありがとう」	
10		たけるときりおが部屋の壁に沿って座り込む。	

場面：浴衣にお着替え

番号	画面	内容・台詞	時間
11		かな「お凜様、まだかな？」 たける「どうだろうね」 きりお「どうだろうね」 三人が微妙な距離感で、視線を合わせたり外したりしている。	
12		かな「浴衣に着替えなよ」	
13		たける「うん」 きりお「うん」 たけるときりおが子供用の浴衣を持ってきて、部屋の外に出ていこうとする。	
14		かな「あっち見てるから、ここでいいよ」	
15		たける「うん」 きりお「うん」 たけるときりおが浴衣に着替える。	

場面：浴衣にお着替え

番号	画面	内容・台詞	時間
16		かんなが、浴衣姿のたけるときりおを見る。 かんな「わあ、似合う！」	
17		たけるときりおが照れる。 たける「ありがとう……」 きりお「ありがとう……」	
18		たけるときりおが再び壁の近くに座る。	
19		かんな「そんな遠くじゃなくて、もっと近くに 来なよ」 たける「うん」 きりお「うん」 たけるときりおがかんなの近くに来る。	
20		三人が視線を合わせたり外したりしている。	



場面：浴衣にお着替え

番号	画面	内容・台詞	時間
21		たける「お風呂、どうするの？」 かな「後でお凩様と入る」	
22		たける「その、一緒に、入りたい！」 きりお「ぼ、僕も！」	
23		かな「恥ずかしいよ」	
24		たける「ごめん」 きりお「ごめん」	
25		かな「たける君ときりお君だったら、いいかも……」	


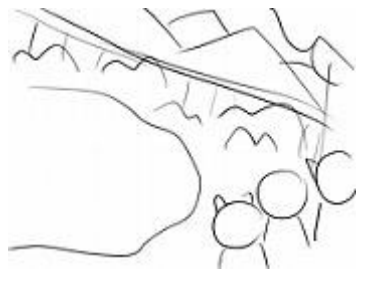



場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
26		たけるときりおがかんなに熱い視線を送る。 かなは恥ずかしそうに視線をそらしているが、口元は微笑んでいる。	
27		庭。 牙吉と飛丸、達次郎が腰掛処でカップ酒を飲みながら池の鯉を眺めている。 牙吉「風呂上がりの一杯は欠かせねえな」 飛丸「風呂上りは安酒に限るでやんす」	
28		達次郎「鯉が何飲んでんだって顔で集まってきましたよ」 鯉がうじゃうじゃ。	
29		牙吉「鯉も酒が飲みてえんですよ」	
30		飛丸「鯉に酒の味がわかるでやんすかね？」	


場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
31		牙吉「試してみるかい？」 飛丸「怒られるでやんす！」	
32		達次郎「それより、この鯉、さばいたら美味 そうですね」	
33		牙吉「鯉が好きなんで？」 達次郎「ええ。上州の鯉は美味しいですよ。デ カくてコリッコリで」 飛丸「なら、武州の鯉も気に入るでやんよ」	
34		達次郎「夕食に鯉の洗いは出るんですか ね？」	
35		牙吉「これは観賞用だと思いますがね」 飛丸「頼んでみるでやんすか？」	




場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
36		達次郎「いえ、それは迷惑になっちゃうんで」	
37		牙吉飛丸、達次郎がぼーっと秩父の山を眺める。	
38		達次郎「上州にはお越しになったことはありますかい？」 牙吉「ええ」 飛丸「何度も」 達次郎「そうですかい」	
39		牙吉「姐さんが温泉好きでさあ、物見遊山がてら、風呂入りに」 飛丸「あっしらも温泉好きでやんすから、自分達の楽しみのためにも」	
40		牙吉「草津、万座、四万、伊香保、宝川、谷川……有名どころは一通り行ったと思いますよ」	

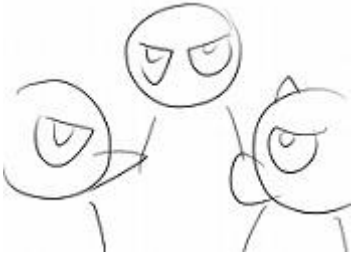




場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
41		飛丸「草津は一度しか行ったことないでやんすが、大露天風呂は本当に広くて、お湯も熱くて、思い出深いでやんす」	
42		達次郎「今時のスーパー銭湯みたいのじゃなくて、昔からの温泉場が結構あるのが、上州のいいところだと思ってます」	
43		牙吉「達次郎さんは、武州にお越しになったことは？」	
44		達次郎「初めてですね」	
45		牙吉「なら、上州に帰る前に、是非とも秩父で遊んで行って下せえ」 飛丸「昔からの温泉場はないでやんすがね」	

場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
46		達次郎「ええ、遊ばせてもらいます」	
47		牙吉「おいら、達次郎さんとは気が合いそうな気がするなあ」 飛丸「あっしもそんな気がするでやんす」	
48		達次郎「地元で鎮守神の跡目を継いだのはいいですが、帰れば、これから私一人です。武州に縁ができただけでも、励みになるっもんです」	
49		牙吉「おいらたちで五分の兄弟分になりませんか？」 飛丸「そりゃいいでやんすね」	
50		達次郎「私みたいので良ければ」	


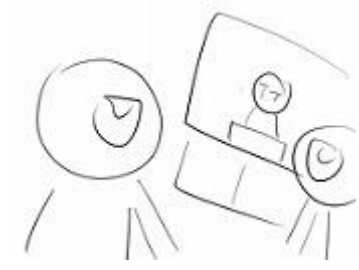


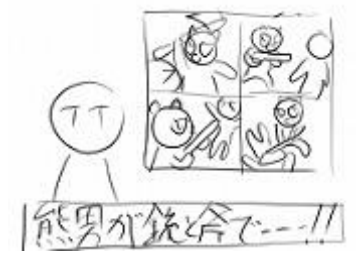
場面：鯉とカップ酒の契り

番号	画面	内容・台詞	時間
51		牙吉、飛丸、達次郎が熱い目で見つめ合う。	
52		牙吉、飛丸、達次郎は、カップ酒の中身を一度一つの瓶に混ぜ、改めて三つの瓶に分ける。 その三つの瓶を、一口ずつ回し飲みする。	
53		牙吉の熱い目。	
54		飛丸の熱い目。	
55		達次郎の熱い目。	


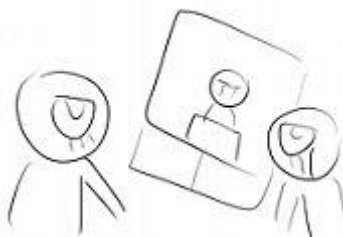



場面：弩羅猫連続狩り

番号	画面	内容・台詞	時間
56		牙吉、飛丸、達次郎が、両手を重ねて強く固める。 牙吉「兄弟！」 飛丸「兄弟！」 達次郎「兄弟！」	
57		客間。 やすお達と子供達が退屈そうにしている。 やすお「つままないな」 取り巻き1「トランプか何かある？」 取り巻き2「ないよ」 やすお「テレビつけるか」	
58		やすおがテレビをつける。 たまたまニュースが映る。 ニュース「本日、埼玉県〇〇市で、少年の遺体が発見されました」 やすお「おい、ここだぞ」	
59		ニュース「少年はいずれも不良集団『関東弩羅猫連合』に加盟する中学生とされ、万引きした品物を山分けしていた形跡があり、銃撃による傷と斧のような刃物によるえぐれたような傷があることから、何者かに襲撃を受けて殺害されたものと推測されています」	
60		ニュース「入間川中央警察では、不良集団同士の抗争か、暴力団の抗争に巻き込まれた可能性を検討して捜査を進めています」	


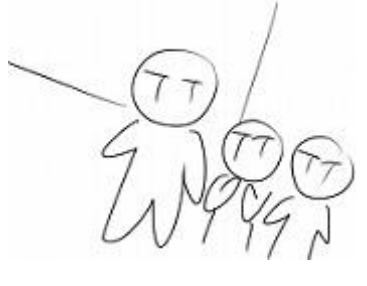


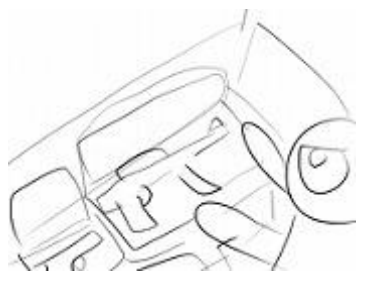
場面：弩羅猫連続狩り

番号	画面	内容・台詞	時間
61		やすお「銃と斧って……」	
62		ニュース「突然ですが、新しいニュースです。先程、埼玉県〇〇市で、少年の遺体が発見されたことをお伝えしましたが、関連すると思われる事件が発生しました」	
63		やすお「また……」	
64		ニュース「埼玉県〇〇市の郊外にて、不良集団『関東弩羅猫連合』に加盟する中学生の少年達が、異なる場所で、武装した覆面の男の襲撃を受けて次々と殺害されました」	
65		ニュース「入間川中央警察によると、犯行の一部始終が監視カメラに写っており、熊のような男が、猟銃と斧を凶器に不良少年達を殺害する様子を確認したとのことです」	






場面：弩羅猫連続狩り

番号	画面	内容・台詞	時間
66		やすお「熊男だぜ……」	
67		ニュース「犯人は近隣に潜伏していると想定されるため、警察では捜査を継続しています。住民の方々は、安全のため、不要不急の外出を控えるようにして下さい。また、不審な人物を見かけたら、110番通報をお願いします」	
68		やすおがテレビを消す。 やすお「やばい、やばいぞ……」 やすおの取り巻き達、子供達の表情が暗くなる。	
69		取り巻き「殺されるのかな……」 取り巻き「怖いこと言うなよ」	
70		たけるとかんな、きりおが入ってくる。 たける「ニュース見た？」 やすお「ああ」	



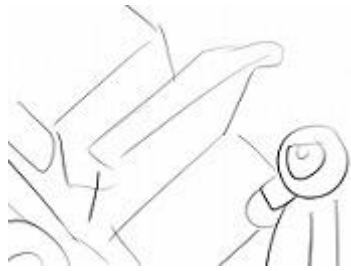

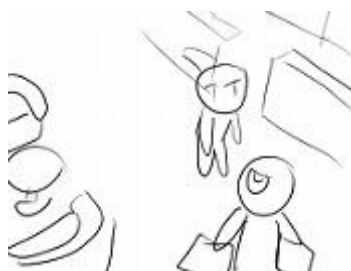
場面：弩羅猫連続狩り

番号	画面	内容・台詞	時間
71		たける「勝手に外出たりしちゃだめだよ」 やすお「わかってるよ」 たける「刑事さんもいるし、家や学校にはお父さんが連絡してくれるはずだから、ここにいるのが安全だと思う」	
72		かな「お凜様、まだかな……」 きりお「まさか、怖い人達に……」 たける「大丈夫だよ。お凜様を信じよう」	
73		たける「お凜様なら、怖い人達になんか負けないし、必ず熊男をやっつけてくれるはずさ！」	
74		裏駐車場。 東森が、車のトランクを開けてごそごそやっている。	
75		トランクには、ケース入りの拳銃や散弾銃、機関銃がたくさん積まれている。	

場面：超法規市民防衛許可

番号	画面	内容・台詞	時間
76		東森は、ケースを開けて銃器の動作を確かめた後、ケースを閉める。	
77		東森が携帯電話を出し、通話をする。 東森「刑事課暴力団担当係の東森です。ニュースでやってた熊男殺人事件ですが、脅征会がらみで人間屋旅館に入ったところ、そこのご子息と地域の子供達が熊男に襲われていたことが判明しました」	
78		東森「子供達は無事です。ご主人の機転で、安全のため旅館で滞在しています。熊男から子供を助けたのはご主人ではありません。通りすがりの旅行者、いや、神様です。本当に神様です。この目で確認しています」	
79		東森「熊男だけじゃなく、旅館に嫌がらせに来ていた脅征会の連中も、その神様が蹴散らしました」	
80		東森「頭に二本の角を生やした変な格好の、そう、鬼の姿をした少女と、それに従っている獣や鳥の格好した男です。神社の門に立っている像のような。真面目に言ってます」	

場面：超法規市民防衛許可

番号	画面	内容・台詞	時間
81		東森「信じないならそれでいいです。政教分離の原則がありますから、公務執行に宗教的概念を絡めるのはややこしくなりますし」	
82		東森「熊男もどうやら覆面の変質者ではなく、人知を超えた妖怪だそうです。酔ってません、真面目に言ってます」	
83		東森「とにかく、脅征会と熊男の警戒のために、しばらく旅館に滞在させていただきます。緊急時の武器の使用も許可いただきます。ありがとうございます。また何かありましたら連絡します。失礼します」 東森が通話を切る。	
84		東森は、銃火器が入ったケースを持って、旅館に戻っていく。	
85		帳場。 東森が玄関から入ってくる。 たまたま事務所から奥富が出てくる。 東森「本署から正式に滞在許可が出ました」 奥富「そうですか。よろしくお願いします」 奥富が軽く頭を下げる。	

場面：超法規市民防衛許可

番号	画面	内容・台詞	時間
86		奥富「なんですか、それ」	
87		東森「玩具です」	
88		東森「子供の手の届くところに置きたくない のですが……」 奥富「まだ空室があります。刑事さんの専用 で使ってください」 東森「ありがとうございます」	
89		東森が客室に向かっていく。 一度立ち止まる。 東森「そうそう、万が一の時には、玩具で遊 んでも構わないとのことですよ」 奥富「親分に伝えておきます」 東森が歩いていく。	
90		すぐ後、お凜様が帰ってきて、玄関から入っ てくる。 お凜様「ただいま」 奥富「お帰りなさい」	



場面：組長と若頭の仮釈放

番号	画面	内容・台詞	時間
91		お凜様「脅征会の事務所を潰してきたで。証拠の書面もある」 お凜様が誓約書等の書面を奥富に渡す。 奥富「早速親分に……」 奥富が事務所に入っていく。	
92		お凜様が客間に向かっている。	
93		刑務所前。 門から脅征会小谷田組組長小谷田俊也と若頭金子貴也が出てくる。 小谷田と金子は息を深く吸う。	
94		小谷田「なんだ、誰も迎えに来ないのか」 金子「このご時世ですからね」 小谷田と金子が歩き出す。	
95		入間屋一家客間。 たける、かな、きりおがテレビを見ている。	

場面：お凜様ご入浴

番号	画面	内容・台詞	時間
96		お凜様が入ってくる。 お凜様「ただいま」 たける達が一斉にお凜様を見る。 たける「お帰り！」 かな「お帰り！」 きりお「お帰り！」	
97		たける「無事だったんだね」 お凜様「暴力団なんぞにやられるわけないで」	
98		お凜様「かなちゃん、お待たせじゃな。お風呂入ろっか」	
99		かな「うん。でね、たける君ときりお君が一緒に入りたいって……」	
100		お凜様がたけるときりおを見る。 たけるときりおは、微妙にお凜様から視線を外したり、合わせたり。	

場面：お凜様ご入浴

番号	画面	内容・台詞	時間
101		お凜様がクスッと笑う。 お凜様「一緒に入ろ！」	
102		庭。 牙吉、飛丸、達次郎が、カップ酒を飲み散らかして眠りこけている。	
103			
104			
105			